

委員会からの報告

指名委員会報告



指名委員会 委員長
社外取締役 岩本 敏男

現在の経営環境は、これまでの常識や価値観が急激に変化するパラダイムシフトの時代に置かれています。そのなかで企業の持続可能な成長と経営の安定を確保するために、指名委員会の使命と機能がますます重要となっています。特に組織の継続性と安定性、専門知識の維持、経営の多様性と創造性、ガバナンスの健全性などの観点から、社長のみならず経営陣のサクセッションプランを策定し、円滑なリーダーシップの継承を支援することが不可欠です。

また、社外取締役を含む取締役の選任と評価は、ガバナンスの健全性を保つために重要な課題です。指名委員会は、透明性と公正性を持ってこの過程を進めることで、お客様や株主様、従業員やサプライチェーンにかかわるすべてのステークホルダーの信頼を得ることを目指しています。企業の中長期的な経営戦略に沿った最適なリーダーシップとガバナンスを確保するために高い倫理観を維持しながら努力してまいります。

監査委員会報告



監査委員会 委員長
社外取締役 西川 克行

監査委員会では、中期経営計画の進捗状況、グループ内のガバナンスやコンプライアンスなど重要事項について、本社内やグループ各社の責任者らから報告を聴取し、時には現地視察を実施するなどして把握に努めています。そのなかで、総資産コンサルティングによる「お客様の資産価値最大化」の意識がグループ全体に徹底され、実践されつつあること、法制度などが異なっている海外での活動についても、ガバナンス改善のさまざまな取組みがなされていることなどが確認できました。当社グループでは、インオーガニックな成長を目指し、あおぞら銀行、かんば生命などとの外部連携がなされており、新しい枠組みもしっかりモニターしていると考えています。近時、金融機関においては、その信頼を揺るがしかねない不祥事が散発しています。幸い当社グループでは大きな事案は発生していませんが、常に警戒を怠らず、発生を未然に防止する措置が十分講じられているかも、把握していきたいと考えています。

報酬委員会報告



報酬委員会 委員長
社外取締役 河合 江理子

報酬委員長として役員報酬を決定するにあたり、社外取締役としての視点から報酬に関する透明性と客観性を担保し、報酬が公正で業績や市場の状態に合ったものにするように心掛けています。また、中長期の業績向上への意欲を高めるために、業績連動型報酬の比率を高めてきました。業績連動型報酬は、財務業績評価（連結ROE、連結経常利益、ベース利益）とクオリティ評価（ビジネスKPIの達成状況）の両方の評価にもとづいて決定しています。また2025年度よりファントムストックを新たに導入し、株式報酬を増額することとしています。ファントムストックは現物株式を付与しないため、希薄化懸念を伴わずに中長期的な業績向上へのインセンティブを高めることができます。

報酬委員会では、2024年度は会議を5回開催し、報酬体系改定について社外取締役の委員も積極的に審査し、透明性を担保し、当社の持続的な成長を促進するために、議論を重ねています。